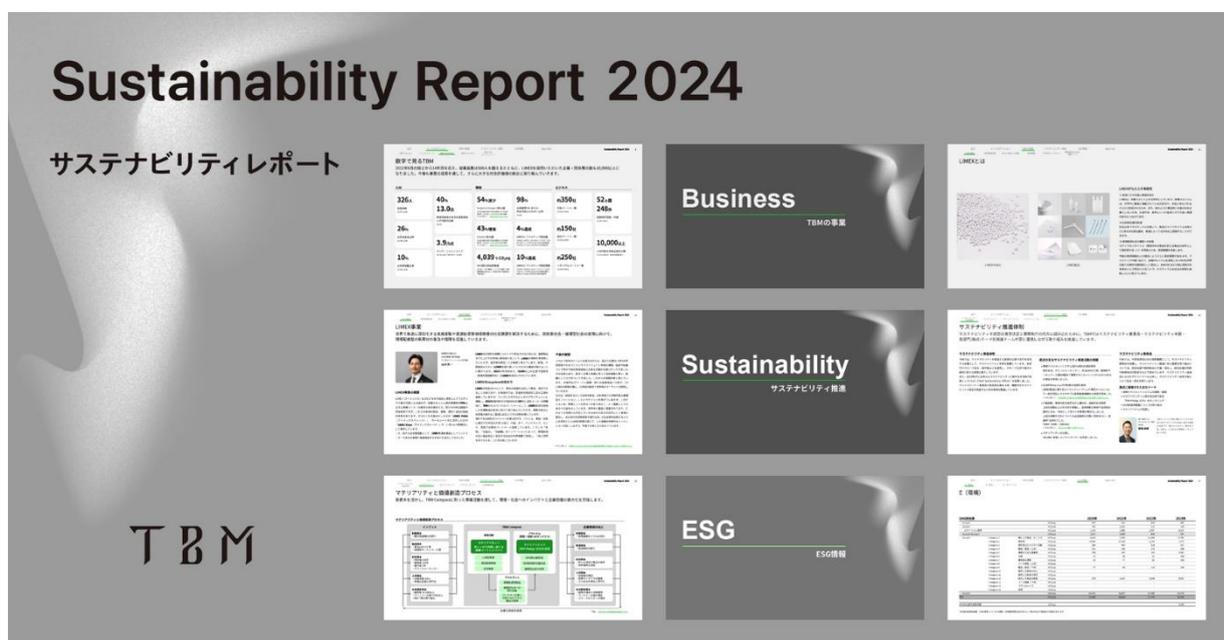


報道関係者各位

**TBM、「Sustainability Report 2024」を公開**  
～事業を通じて解決を目指す環境・社会課題やマテリアリティなど、  
サステナビリティ推進に関する情報を網羅～

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎 敦義、以下 TBM）は、持続可能な社会の実現に向けた考え方や取り組み、2023 年度の ESG データなどをまとめた「Sustainability Report 2024」を公開しましたので、お知らせいたします。



・ TBM Sustainability Report 2024 : [https://tb-m.com/doc/TBM\\_SustainabilityReport2024\\_Version1.0.pdf](https://tb-m.com/doc/TBM_SustainabilityReport2024_Version1.0.pdf)

「進みたい未来へ、橋を架ける」をミッションに掲げる TBM は、環境配慮型素材「LIMEX」の開発や、資源循環事業を通じたグローバルな環境問題への貢献を目指しています。また、未上場スタートアップでありながら国際的な気候変動イニシアチブである SBTi から TBM の気候変動に関する目標がパリ協定の 1.5°C 目標に準拠していることの認定を受けている他、国際環境情報開示プラットフォーム CDP の質問票へ継続的に自主回答するなど、国際水準を意識したサステナビリティの活動に取り組んでいます。2022 年には、目指す持続可能な価値創造プロセスを表現した「Vision Book」を発行し、ステークホルダーの皆さまへの非財務情報開示にも取り組んできました。

今回公開した「Sustainability Report 2024」には、の事業を通じた持続可能な社会の実現への貢献に向けた考え方や、2023 年の活動実績、ESG データを掲載しています。

本レポートを通じて、TBM の取り組みや目指すビジョンを幅広いステークホルダーの皆さまにご理解いただき、さらなる持続可能な価値創造を目指してまいります。

また「Sustainability Report 2024」ではご紹介しきれない各メンバーの取り組みなどをオウンドメディア「Times Bridge Media」にて発信しています。ぜひ「Sustainability Report 2024」と併せてご覧ください。

（参考）「Times Bridge Media」 : <https://www.media.tb-m.com/>

# 「Sustainability Report 2024」の主なハイライト

## 数字で見る TBM



環境配慮型素材「LIMEX」を採用いただいた企業・団体等は 10,000 以上、ものづくり等で協業するパートナー企業数も約 750 社になりました。今回はじめて、事業を通じた環境へのインパクトとして、GHG 排出削減貢献量を算定しました。

## マテリアリティ



### マテリアリティ

「2030年に向けてTBMが解決すべき最も重要な課題」をマテリアリティとして特定しました。価値創造、ひいては企業価値向上の源となるケイパビリティの向上と、私たちが目指す環境・社会へのインパクトの両方の観点から、マテリアリティを見直しました。

#### マテリアリティ①

##### 思いっきり挑戦し続ける組織づくりと人づくり

TBMが目指す世界の実現に向けて、そしてこれから何百年も成長し続けるためには、常に高い目標に対して挑戦し続ける人材の育成と組織づくりが重要なテーマと捉えています。同時に、倫理的な事業活動や徹底的な健全性を確保し、事業の基盤をつくることで、ステークホルダーからの信頼を獲得し、さらなる挑戦を続けることができると考えています。

#### マテリアリティ②

##### TBM Pledge 2030の達成

「遠みない未来へ、橋を架ける」ために、お客様やサプライヤーの皆さまとともにTBMは環境・社会課題の解決に挑んでいます。脱炭素社会、循環型社会の実現に向けて、技術・仕組み・価値観のイノベーションを持ってTBM Pledge 2030の達成を目指します。

#### マテリアリティとは

マテリアリティに共通の定義はありませんが、多くの場合で中長期的な企業価値向上において重要な課題のことを指します。自社の事業分析と社内外の環境分析を通じ、自社と自社を取り巻くステークホルダーの視点から中長期的に取り組むべき事項を検討することが多いです。

#### TBMにとってのマテリアリティ

今回のTBMでのマテリアリティ特定では、マテリアリティを「2030年に向けてTBMが解決すべき最も重要な課題」として議論しました。

#### マテリアリティ特定プロセス

サステナビリティに関するガイドライン等を広く参照しつつ、これまでのステークホルダーとの対話において言及された事項も取り入れながら、自社が関与する環境・社会課題を上記の定義に照らして抽出・評価しました。

\*ガイドライン等 SASB Materiality Finder, GRI, SDGs, ISO 26000 等

中長期的な企業価値の向上に向けて取り組むべき重要課題であるマテリアリティを見直しました。

## マテリアリティ

- ① 思いっきり挑戦し続ける組織づくりと人づくり
- ② TBM Pledge 2030 の達成

「Sustainability Report 2024」には、マテリアリティに関する具体的な取り組みや TBM の 2030 年に向けた野心的な目標である、TBM Pledge 2030 に対する進捗状況も掲載しています。

# 人を創る会社



TBM では、人づくりを経営の重要課題として捉えています。「Sustainability Report 2024」では、多様な価値観やバックグラウンドを持つメンバーが年齢や役職に関係なく、「サステナビリティ革命」の実現に向けて挑戦する様子をお伝えしています。

## ■ 担当者コメント

TBM は、事業を通じて脱炭素と資源問題の解決への貢献、そして「サステナビリティ革命」の実現を目指しています。「Sustainability Report 2024」では、環境・社会へのインパクトと企業価値の最大化に向けたさまざまな取り組みや施策の進捗状況をお伝えしています。ステークホルダーとの建設的な対話のためのコミュニケーションツールとして「Sustainability Report 2024」を活用し、引き続き社会からの期待や要請に応えてまいります。

(株式会社 TBM サステナビリティ本部 岩村)

## ■ 株式会社 TBM

代表者 : 山崎 敦義

所在地 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年 8 月

資本金 : 1 億円 (資本準備金含み、120 億 3546 万円)

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

\* 本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本リリースに記載された内容は発表日現在のもので、その後予告なしに変更されることがあります。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 TBM コミュニケーション本部 広報・マーケティング部 担当：菊田  
サステナビリティ本部 担当：岩村

メールアドレス : [pr@tb-m.com](mailto:pr@tb-m.com) / お問い合わせフォーム : <https://tb-m.com/contact/>